

# Identify

## 課題解決への熱意が「見つけ」を可能にする

Identify >>> Develop >>> Expand

「まずは、NAGASEに聞いてみよう」。私たちは、お取引先からそういわれる存在でありたいと考えています。創業以来、様々な領域で課題解決に取り組んできた蓄積が、新しい技術やビジネスの種を見つける「目利き力」につながっています。NAGASEグループはこれからも、時代が求める「見つけ」を重ねていきます。

## History

いつの時代も、  
未来に必要とされる  
技術を見つけてきた

## Now & Future

これからも、  
次世代のビジネスの  
種を見つけていく

### 海外メーカーとの関係を構築した黎明期

化学の可能性を追い求めて

NAGASEグループはその黎明期に、化学の可能性を追い求め海外有力メーカーとのパートナーシップにいち早く目を向けました。1900年にはスイスのパーゼル化学工業社(当時・チバ社)と取引を開始し、1901年にはヨリンに出張所を開設。当時の日本企業のなかでも極めて先進的な取り組みでした。その後も同社との取引は拡大し、1951年には電気

絶縁特性を持つエポキシ樹脂の輸入販売をスタート。これが現在のエレクトロニクス事業の展開へとつながります。

また、映像文化の発展を見据え、映画用生フィルムにも着目し、1923年に米国のイーストマン・コダック社との取引を開始。輸入したフィルムを現像する技術が、半導体ビジネスの基盤技術となりました。



当社と取引を始めた頃のイーストマン・コダック本社

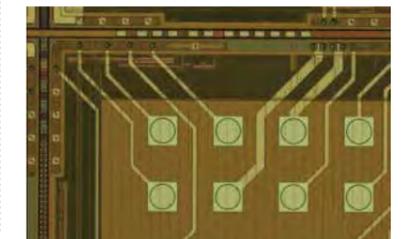
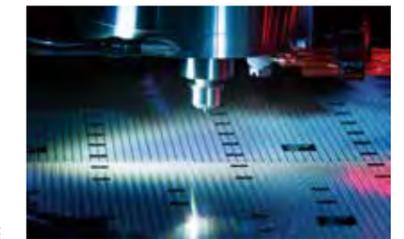
### 次世代情報通信関連ビジネスへの挑戦

5Gのさらに先へ

超高速大容量、超低遅延、多数同時接続を実現する5G(第5世代移動通信システム)への移行が注目されるなか、NAGASEグループは、5Gに関する様々な設備、デバイスにおいて、私たちの基盤技術が重要な役割を果たすと考え、開発を進めています。また、さらにその先の6G(2027年頃に実現するとされる、

第6世代移動通信システム)がもたらす変化も見据え、M&Aの推進、コアテクノロジーの開発に全力を注いでいます。

次世代情報通信関連ビジネスが目指すのは、「スマートシティ」の実現です。これを通じて「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」に貢献していきます。



▶詳細はP32-33「特集 次世代ビジネスへの取り組み Case 1」をご参照ください。

### エンブラの可能性を見出す

GE社とのパートナーシップ

1968年、NAGASEグループは米国のゼネラルエレクトリック社(GE社)と代理店契約を締結しました。当時の「プラスチック」は塩化ビニルやポリエチレン、ポリスチレンなどの汎用樹脂が主流でしたが、NAGASEは当時、日本産業界の発展には機能性の高い「エンジニアリングプラスチック(エンブラ)」が不可欠との想いを持っていました。

そうしたなか、米国でエンブラを取り扱うGE社が、日本におけるパートナーを探しており、綿密な調査の末、日本において最も信頼できるパートナーとしてNAGASEグループを指名。代理店契約を締結する運びとなりました。

GE社とのビジネスは、業界におけるNAGASEの知名度を飛躍させ、その後のアジアでの拠点拡大にも大きく貢献しました。

### 将来のビジネスの核をつくる

NVC (New Value Creation) 室

NAGASEグループの将来のビジネスの核をつくるのが、2017年4月に設置したNVC (New Value Creation) 室のミッションです。その名が示す通り、NAGASEグループのイノベーションを推進し、事業部を横断したコラボレーションによって、将来のビジネスの核となる新たな価値の創造を目指しています。

NVC室における3年間の取り組みから

は、具体的なサービスとして実を結びつつあるものもあります。一例として挙げられるのが、IBM社と共同開発を進めている「マテリアルズ・インフォマティクス(MI)」です。これは最先端のデータ処理技術と材料科学を融合した、新しい材料開発サービスであり、今後の市場投入に向け準備を進めています。

▶詳細はP34-35「特集 次世代ビジネスへの取り組み Case 2」をご参照ください。



ゼネラルエレクトリック社

# Develop

## 半歩先を行く

Identify >>> Develop >>> Expand

## グループ力が叶える「育み」

モノをただ仕入れて売るのではなく、NAGASEならではの価値を加えることが私たちの存在意義。NAGASEグループは商社であると同時に、メーカー群が持つ尖った技術力や、研究開発力を強みとしています。見つけた種を、新しい価値が生み出されるビジネスへと成長させる――。NAGASEにはビジネスを「育む」プレイヤーがそろっています。

## Manufacturing

製造

### 見つけた種を 新しい価値にする 技術力

## R&D

研究開発

### 多様な視点と 研究開発力で 事業化を追求する

### コア技術×発想力

ナガセケムテックス(株)

NAGASEグループの中核製造子会社であるナガセケムテックス(株)は、エレクトロニクスやバイオなど多領域で独創的な技術を持つ企業です。エポキシなどの機能樹脂、半導体関連のフォトソノ材料、導電コーティングなどの機能化学品、食品用酵素などの生化学品を事業領域とし、世界初の開発や国内シェア1位の技術でグループのイノベーションを支えています。大学や研究機関、パートナー企業とも積極的に連携し、新たな要素技術の導入に努めています。

私たちは、NAGASEのメンバーと緊密

に連携することで、顧客ニーズにスピーディーに応えると同時に気づきを提供しています。注力するバイオマテリアル分野では、身体に有害な「エンドキシン」を様々な素材から除去・低減化する技術を開発。医療機器分野などでの需要増を見込み、幅広い顧客ニーズを吸い上げて製品群を拡充しています。私たちが強みを持つ素材・技術に、お客様の「声」から生まれる発想を掛け合わせ、技術の「種」を価値あるビジネスに育てていきます。



ナガセケムテックス(株)  
代表取締役社長

藤井 悟



設立:1970年  
生産・開発拠点:  
国内(3)、中国(2)、  
欧州(1)、米州(1)  
従業員数:581名

### お客様と生み出す イノベーション

2019年9月に開設したNPiC(Nagase ChemteX Process innovation Center)は、各種装置を用いたプロセス開発が可能な「アプリケーションラボ」と、アイデアを即座に共有できる「ユニバーサルデザインの執務室」を配し、当社開発者とお客様との自由なイノベーションを活かす空間です。アイデアの具現化まで一貫して行い、新たな機能性樹脂の開発に努めます。

### ナガセケムテックスの事業

機能樹脂事業	精密加工材料事業	機能化学品事業	生化学品事業
エポキシ樹脂接着剤・封止剤(シート状、液状)	レジスト、現像液、エッチャント、剥離剤、3Dプリンター材料	透明導電性コーティング剤、アクリルエラストマー、特殊エポキシ樹脂	食品用酵素、工業用酵素、生活用酵素、リン脂質

### バイオの知見を最先端の技術と融合

ナガセR&Dセンター

ナガセR&Dセンターは、グループの知を集中させ、開発・生産から販売まで一貫した企業活動を推進する目的で1990年に設立されました。2013年からはバイオテクノロジー分野の研究開発に注力しており、分子生物学、応用微生物学、遺伝子工学、たんぱく工学、バイオインフォマティクス、発酵工学、代謝工学などの研究体制が整っています。グループ各社の製品開発サポートにとどまらず当センター発の事業も生まれており、独自

の放線菌の発酵技術で量産化に成功した、エイジングケア効果が期待される「トレハンジェリン」は、ナガセケムテックスの製品として近く上市予定です。

また、長寿ビタミンといわれる「エルゴチオネイン」は、抗酸化作用をはじめ様々な効果が認められ、食品や化粧品、医薬品への応用が期待されています。私たちの強みである微生物発酵を利用して、環境に配慮しつつ、この大量生産を目指して研究開発を進めています。



ナガセR&Dセンター  
センター長

劉 曉麗



設立:1990年

### オープンイノベーションの場をお客様に提供

ナガセアプリケーションワークショップ(NAW)



ナガセアプリケーション  
ワークショップ(NAW)  
所長

谷口 明広



設立:2007年

ナガセアプリケーションワークショップは、商社が運営するラボならではの自由な発想を持ったオープンイノベーションラボです。お客様の開発パートナーとしてユニークな新技術や新素材の評価・分析、機能付与の処方開発、新たなコンセプトのカラーデザイン提案、新規用途開発などを推進。自動車、OA、電機・

電子、住宅設備、包材等の市場に向け、素材、加工メーカーや大学と連携しています。今後は、ESGへの取り組みとして環境分野のテーマに注力し、NAGASEグループのビジネスモデル構築を目指して新たな技術・素材の開発を進めます。さらに、ラボ機能のグローバルなグループ連携も視野に入れて活動しています。

# Expand

## 分野、国を超えていく 「化学反応」

Identify >>> Develop >>> Expand

技術・製品を、従来と異なる分野に応用すること。これは、幅広い事業領域でビジネスを展開するNAGASEに浸透する発想です。また、ビジネスを様々な国のニーズに合わせて展開するノウハウも、私たちの強みです。NAGASEグループには、ビジネスの可能性を大きく「拡げる」力があります。

### Global Network

グローバルネットワークで必要とされる場所に価値を届ける

#### 欧州

医薬品・化学品事業を主軸に展開。前者では欧州発の医薬原料の日本への輸出に注力し、後者では環境負荷の高い製品をバイオケミカルに置き換え、環境への配慮を推進しています。

#### ASEAN & 中東

合成樹脂やモビリティ関連の基盤事業の高付加価値化を推進。食品素材事業ではアプリケーションラボや多様な商材により顧客の課題解決を目指します。

#### グレーター チャイナ

NAGASEグループの国外エリアにおいて最大の売上規模を誇り、現在は半導体、モビリティ、エレクトロニクス、ライフ&ヘルスケアという4つの事業に注力しています。

#### 日本

NAGASEグループのグローバルネットワークの中心として、基盤事業のみならずAIや次世代情報通信関連ビジネスなど新たな分野にも積極的に展開しています。

#### 韓国

韓国が世界的に競争力を持つ半導体などのエレクトロニクス事業を主軸に展開。NAGASEグループのネットワークを活かし、韓国製品のグローバル展開も推進しています。

#### 米州

2019年に加わったPrinovaをはじめとしたグループの研究開発力とネットワークを活用し、食品素材事業分野を中心に、グループ内でのシナジー創出を目指しています。



連結売上高

7,995 億円  
海外/3,971億円

海外売上高比率

49.7 %

拠点数

30 カ国・地域 124 社

製造会社数

15 カ国・地域 60 社

販売・サービス会社数

28 カ国・地域 64 社

連結従業員数

7,207 名  
海外/3,284名

▶詳細はP70-71「地域別戦略」をご参照ください。

# Driving Our Value

NAGASEグループは188年にわたる事業活動を通じ、化学を基盤としたユニークな企業グループへと成長してきました。幅広い事業領域とグローバルに広がるネットワーク、グループ力を高めている製造・加工や研究開発機能。また「誠実に正道を歩む」姿勢に対するパートナーからの信頼などが、NAGASEの持続的成長につながる強みとなっています。長い年月をかけて培われてきたこの強みに、今後も「新たな強み」を重ねながら事業を展開し、そこから生み出す価値をステークホルダーの皆様へ持続的にお届けすることで、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献してまいります。

## 信頼に基づく パートナーシップ

NAGASEグループは、「誠実に正道を歩む」ことを普遍的な経営理念として掲げています。この想いを持ってお取引先を深く理解し、様々な可能性を共に追求する協力関係を構築しています。

## 化学分野での 高い技術と知見

グローバルに活躍する有力化学メーカーをはじめとする多様なお客様とのつながりや、培ってきた製造・加工、研究開発機能により、NAGASEグループには化学分野での揺るぎない技術力と知見が蓄積されています。

## 幅広い顧客基盤

NAGASEグループは、国内外で約9,000社の顧客基盤を有しています。幅広い事業領域でのグローバルな展開、そして特定のメーカーの技術・製品にとらわれない商社ならではの自由かつ強固なネットワークが、お客様の価値につながる提案を可能にしています。

## ビジネスを創る力

製造・加工、研究開発などNAGASEグループの多様な機能を縦横無尽に結びつけることで、様々な価値を創造・提供してきました。「ビジネスデザイナー」として新たな事業を創る力は、私たちの大きな強みです。

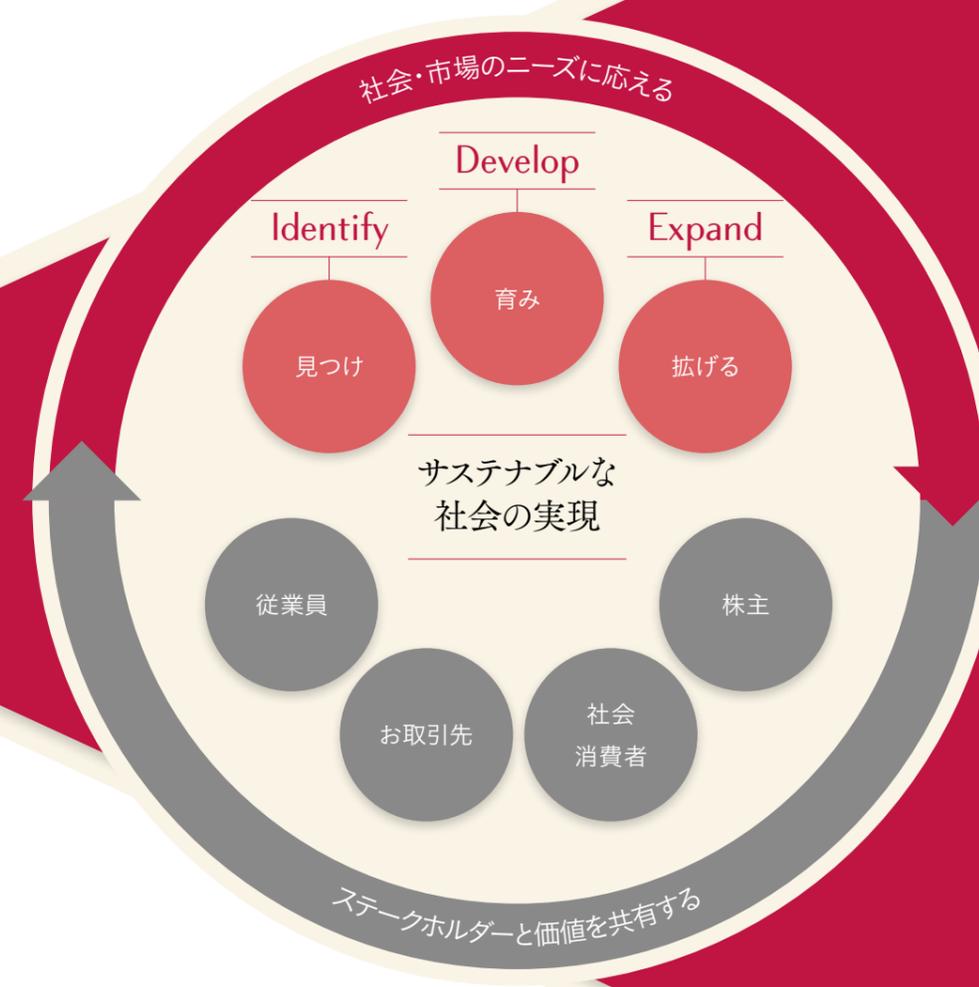
## 財務健全性と 厳格な財務規律

NAGASEグループには、財務の健全性と厳格な財務規律を守る風土が存在します。特定の商品や地域への依存度が低く、仕入・販売基盤も安定しており、こうした財務基盤が、DXや次世代情報通信関連ビジネスなど、グループの持続的成長へとつながる新しい「挑戦」を可能にしています。

培われた強み

## 価値を、未来へ

### 持続可能な事業を 展開する



### 生み出した 価値を届ける



#### 長期経営方針 骨子

#### 成長に向けた チャレンジ

- ・成長投資の拡大
- ・オーガニック成長の加速
- ・グローバルビジネスの拡大

#### 成長を支える 経営基盤の強化

- ・グローバルガバナンスの再構築
- ・人材マネジメントの多様性拡大
- ・安心・安全の提供
- ・コミュニケーションインフラの整備

▶詳細はP26-27「Our Roadmap of Growth/成長戦略」をご参照ください。

#### NAGASEビジョン

「人々が  
快適に暮らせる  
安心・安全で  
温もりある社会」  
の実現

▶詳細はP22-23「Our Philosophy/経営の『拠り所』」をご参照ください。